

富士前田子山まちづくり新聞

No.003

発行：富士前田子山まち再生検討委員会
作成：早稲田大学都市計画佐藤研究室

消防点検 大成功！！

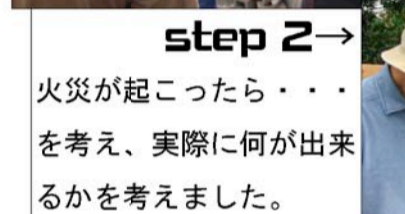
6月26日、富士前田子山まち消防点検を実施しました。天気にも恵まれ、主催である富士前田子山まち再生検討委員会の他に、消防署、市役所の都市整備課と防災交通課、市場自警消防隊、上町防災委員など多くの組織から集まり29名で実施することが出来ました。

今まで富士前田子山まち再生検討委員会で、防災面の課題が幾度となく話し合われてきました。道路が狭く行き止まりの多いこの地区で、消防活動が円滑に行われるかどうか不安があったからです。そのため今回の消防点検では、消防署の人と、もし火災になったらという仮定をし、実際の消火活動の方法を考えながらまちを点検しました。そしてまちを歩いた後、住民・消防署・市役所それぞれの立場から意見交換をしました。それを整理してみると、住民自身で出来ることや今日からでも始められることがたくさんあることが発見できました。

これからもいろいろな組織と連携し、防災意識を向上させることや近所のコミュニケーションを大切にすることで、少しでも火災に強い地区になることを目指していきたいと考えています。



←step 1
消火器・消火栓・防火水槽など、地区の消防設備を点検しました。



step 2→
火災が起こったら・・・を考え、実際に何が出来るかを考えました。



←step 3
消防署の人と机を囲み自分達に出来ることを話し合いました。

富士前田子山《みんなで守ろう！三原則》

火災に強くなるためには小さなことを積み重ねることが大切です。まずみんなで3個の決まりを守って始めの一步を踏み出しましょう。

1つ、路上駐車を減らそう

→緊急車輛の通行を妨げる一番やっかいなものです。

2つ、近所の交流を大切にしよう

→日頃のコミュニケーションが緊急時の助けになります。

3つ、火災が起きたらまず通報

→誰かと重なってもいいから、まず通報をしよう。

通報が遅れると火がどんどんひろがってしまいます。



消防^{耳より}インフォメーション

消防点検の日に消防署の人から聞いた話の中で『知っていれば役にたつ！』
そんな情報をピックアップしてみました。

- ・各家庭に植樹をすれば延焼防止
- ・消火器はふってから使う
- ・通報は携帯電話より、家庭電話から
- ・近所が火災→窓等の開口部を閉じる

消防点検のルートや写真、消防署からのアドバイス等詳しい情報はホームページにものっているの、ぜひ見て下さい。



一緒にまちづくりを考えよう！

次回日程
平成16年11月10日(水)
in いろは遊学館

市役所や専門家の人と共に活動を行っていることで、日頃まちの中で感じていることをいろいろな人に伝える機会にもなります。これからも、道路・建物といった生活環境や、防災上の問題を解決し、みんなで共にルールを守りながら、安全で快適に暮らせるまちにするために話し合います。魅力ある富士前田子山地区にするために一緒に考えてアイデアを出していきませんか？

問い合わせ先
志木市役所都市整備課 計画・公園グループ
048 (473) 1111 内線2524
(武井・滝田)

HP <http://www.shiki-toshiseibi.com/fujimae/kentokaigi-top.htm>